

五城目 事業者ら煎餅、お守り贈る

高校合格へ受験生激励



志望校合格を目指して氣勢を上げる生徒たち

高校受験に挑む五城目町の五城目第一中学校3年生54人を激励する「合格祈願の会」が、同校で開かれた。町内の手焼き煎餅店「イトマン元気村」と、まちづくり会社「あったか五城目」、高性寺が煎餅やお守りなどを受験

生に贈った。

1月28日に開催。イトマン元気村を営む伊藤萬治郎さん(89)は「いよいよ本番。全員が志望校に合格できるよう応援している」と激励。手焼き煎餅のほか、夢に向かって挑戦してほしいとの思いを込め「挑戦王」と書かれた鉢巻きを手渡した。

高性寺の八木下真全住職(57)からは、まちづくり会社が提供し、高性寺で合格祈願したお守りと鉛筆が贈られた。同校1、2年生からも応援メッセージの寄せ書きがプレゼントされた。

3年生を代表して高橋直仁さんは「今まで頑張った自分を認めて自信につなげたい。応援してくれる皆さんの期待に応えられるよう全力で臨みたい」と感謝の言葉を述べた。

合格祈願の会は、伊藤さんらの協力で約20年前から開催している。(高橋秀明)

(2月10日(火) 秋田さきがけ新聞から一部抜粋)